



広島市

# 図書館 だより

平成28年(2016年)夏 No. 330

- 本で知る、ヒロシマ・ナガサキ  
平成28年度被爆体験継承事業のご案内・・・・・・・・・・1面
- 広島市立図書館、この10年間の取り組み  
・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2面
- 健康づくりサポートコーナー・・・・・・・・・・3面
- この日は何の日?・・・・・・・・・・4面
- 休館日のお知らせ7月～9月・・・・・・・・・・4面



## 本で知る、ヒロシマ・ナガサキ

被爆から70年以上が経ち、被爆者の平均年齢が80歳を越えました。被爆者からその体験と平和への思いを直接聞く機会が少なくなる中、被爆体験をどのようにして次世代に伝えていくかが大きな課題となっています。

記憶の風化が指摘される一方、原爆に関する本の出版数は増えており、特に昨年は被爆70周年を機に改めて被爆の惨状を伝えようと、多くの本が出版されました。しかし、これらの本も読み継がれていかなければ、やがては原爆の恐ろしさを誰も知らない時が来てしまいます。



当館は被爆地の図書館として、原爆に関する本を積極的に収集し、市民に提供しています。この先、本による被爆体験の継承がさらに重要性を増すことを考え、今年度は「原爆を伝える一次世代につなぐヒロシマ・ナガサキの本一」をテーマに本やパネルを展示します。

また関連行事として、原爆文学の研究者である詩人堀場清子氏を迎えての講演会と、初の試みとして原爆・平和に関する本を参加者が紹介しあう「本を紹介しあう会」を行います。

この機会に、被爆体験と平和への思いを次世代に伝え続けていくために、私たちができることを改めて考えてみませんか。

平成28年度被爆体験継承事業

### ●企画展「原爆を伝える 一次世代につなぐヒロシマ・ナガサキの本一」

平成28年7月9日(土)～8月31日(水) 会場：広島市立中央図書館 2階展示ホール

### ●関連行事 会場：広島市立中央図書館 3階セミナー室、対象：どなたでも

事業名	日時	定員	内容
講演会 「原爆文学はどう生まれたかーその表現と検閲ー」	7月30日(土) 14時～16時	60名	原爆文学の研究者でもある詩人・堀場清子氏に原爆文学がもつ「伝える力」について講演していただきます。
本を紹介しあう会 テーマ「平和の大切さを伝える本」	8月20日(土) 14時～16時	25名	原爆・平和に関する本を1人1冊、5分程度で紹介しあい、「平和への思いを広げていくために私たちができること」について話し合います。

申込：来館、電話、FAX、図書館ホームページ専用フォーム(7月1日(金)午前9時から受付開始)  
※本を紹介しあう会については8月16日(火)まで



# 広島市立図書館、この10年間の取り組み

～広島市文化財団による図書館全館一括の管理運営開始から、10年が経過しました～

平成18年（2006年）の4月1日から現在に至るまで、指定管理者として当財団が広島市の図書館全館・室を一括管理運営しています。今年、その管理運営の開始から、丸10年が経過しました。

この10年間、広島市立図書館が市民のみなさんにとってより利用しやすく、また、市民活動や日々の生活に役立つ施設となるよう、図書館システムの内容の見直し、新たなサービスの展開や利便性の拡大などを行ってきました。

こうした10年間の歩みを振り返り、今後の取り組みとともに紹介します。

## 平成18年9月 中央図書館に闘病記コーナーを設置

「闘病記」とは、どのように病気を乗り越えたのか、家族はどのような気持ちを抱え、また寄り添ったのか、そして、毎日の投薬・治療状況などを綴った体験記のことです。

中央図書館では、これらの闘病記を病名で分類し、患者会の情報も併せて提供しています。病気に対する不安の解消、心の支えや励みにしていただくために活用いただきたいコーナーです。

今後は、健康情報などの情報収集や提供にも重点的に取り組む予定です。

## 平成19年10月 ビジネス相談会（毎月1回）を開始

ビジネスマンなどの働く人たちを対象にした「ビジネス支援サービス」の一環として、産業支援機関と連携して行っている事業です。

「起業したいけれど、何から始めたらいいのか」といった相談から、効率的な販売方法、現場改善、赤字改善などのビジネスに関わる課題について、中小企業診断士などの専門家のアドバイスが得られる機会を提供しています。



ビジネス相談会の様子

## 平成20年11月 学校支援図書セットの貸出を開始

子どもたちの学校での読書活動推進のため、調べ学習などに役立つ資料をテーマごとにセットにして、学校図書館へ貸出しています。セット数は、スタート時20テーマ30セットでしたが、現在は50テーマ84セットへ拡大しています。

今後も学校図書館などと連携して、子どもが自主的に読書や調べものをするのできる環境を整備します。

## 平成21年3月 広島に関わりのある文学者のデジタルアーカイブの公開

郷土の文学を広く知っていただくために、広島文学資料室の収集対象文学者21名のうち、鈴木三重吉について「鈴木三重吉と『赤い鳥』の世界」を公開しました。

その後順次、原民喜、峠三吉、若杉慧、畑耕一についても、自筆原稿などの貴重な資料をWeb上で見ることができるアーカイブを追加し、公開しています。



「赤い鳥」創刊号 表紙画

## 平成21年4月

## 平成21年6月 多文化サービスコーナーを新設

安芸区図書館では、スペイン語・ポルトガル語のコーナーを、中央図書館では、中国語、韓国・朝鮮語のコーナーを設けています。

外国語の資料提供のほか、こども図書館や中区図書館では、外国語のおはなし会の行事も行っており、外国語を母国語とされる方などへ向けてのサービスとして充実を図っています。



平成 21 年 9 月

## 移動図書館車「ともはと号」による高齢者福祉施設への巡回を開始

図書館から遠くて、図書が利用しにくい地域へ赴き、貸出を行う移動図書館車の「ともはと号」が、高齢者福祉施設へも巡回を始めました。

その後、市立広島特別支援学校、県立広島特別支援学校へも巡回を開始し、サービスポイントを拡大しています。

巡回先の様子→



平成 22 年 4 月

## 返却ポイントの増設

市立図書館で借りた資料を返却するポイントを増やしています。

平成 22 年 4 月に市内公民館に返却ポストを設置し、平成 24 年 12 月には広島市立大学附属図書館のカウンターでの受取を開始、平成 25 年 4 月にはイオン広島祇園店、平成 28 年 3 月には福屋広島駅前店に返却ポストを設置するなど、通勤通学、買い物などでそれぞれのポイントに寄られる時にも返却いただけるようになりました。

平成 23 年 7 月

## 広島 3 大プロコーナーの設置

広島が誇る 3 大プロ「広島交響楽団」、「サンフレッチェ広島」、「広島東洋カープ」に関する資料やグッズをご覧いただけるコーナーを中央図書館に設置。

また、平成 28 年 6 月には、サンフレッチェ広島の増田卓也選手による絵本の読み聞かせイベントをクラブと協働で行うなど、広島・地域に密着した資料情報収集とイベントを行っています。

サンフレッチェ広島の増田選手による読み聞かせイベントの様子↑



平成 27 年 10 月

## 貸出冊数を 10 冊に拡大

平成 27 年 10 月の図書館システムの更新に伴い、IC タグでの資料管理を開始し、貸出冊数についてもそれまでの 5 冊から 10 冊に拡大しました。

# 健康づくりサポートコーナー ～西区図書館～

西区図書館では、昨年春から図書館に入ってすぐのところに「健康づくりサポートコーナー」を設置しています。ここには、日々の暮らしのなかでできる運動についての本、健康に関する資料や事業のチラシなど、健康づくりに役立つ資料を集めています。

また、コーナーをより多くの方々に知っていただくために、日々、市民の方々の健康づくりをサポートしている西保健センターなどの協力を得て、健康づくりをテーマにした講座もスタートさせました。

昨年度は、大人のためのラジオ体操の講座や、「メタボを防いで血管すこやか教室」などを開催し、3 月には、「今日の食事と運動が明日のあなたを創る！」をテーマに、健康の基本、食事と運動についてのセミナーを行いました。

日々の食事の積み重ねの大切さ、栄養バランスを考えた食を手軽に用意する方法、日ごろの立ち方歩き方のくせを知り、体の歪みを少しずつ改善するストレッチの実践などを行い、参加者の方にもご好評をいただきました。

嬉しいことに、コーナーができて約 1 年、足を止めて本や資料を手にとられる利用者の方も増えてきています。

小さなスペースですが、これからも、みなさまの健康づくりに少しでも役立つようコーナーの充実を図るとともに、楽しみながら学べる講座も企画していきたいと思っています。

みなさまのご来館をお待ちしております。





# この日は何の日？

## 8月1日は、日本の近代図書館 はじまりの日

日本における近代図書館の初めといわれる「書籍館（しょじやくかん）」が、明治5年（1872年）に東京の湯島の旧大学講堂を仮館として設置され、同年8月1日(旧暦)に正式に開館しました。

「書籍館」は、文部省が設置したもので、「昌平坂学問所」の和漢籍、江戸時代の国学者である塙保己一（はなわほきいち）が開設した「和学講談所」の国典や当時の教育機関で洋学教育を担当していた「大学南校（だいがくなんこう）」の洋書などの資料を所蔵し、利用は有料でしたが、一般市民の利用に門戸を開いていた施設でした。

その後様々な変遷を経ながら、明治30年（1897年）に「帝国図書館」、昭和22年（1947年）に「国立図書館」と改称され、昭和24年（1949年）に「国立国会図書館」に統合されました。

さて、この「書籍館」が開設されたことに由来して、戦前の図書館記念日（4月2日）が制定されたという説があります。辞典にも同様の記載があるものもありますが、調べてみると正確ではないようです。

他にも、『図書館ハンドブック 第6版補訂版』（日本図書館協会図書館ハンドブック編集委員会／編者、日本図書館協会 2010年刊）には、「書籍館」の設立は「4月28日」と記載があり、この根拠は、博物館書籍館建設案が文部卿に出され、同日に決裁されたことにあるようです。これらを考え合わせると、先の説は誤りではありますが、当時の人々にとって、「書籍館」の誕生とその存在がいかに大きかったかを表しているのかもしれない。

記念日が成立する背景には、それまでの歴史や人々の思いなどが存在します。ぜひ、みなさんも調べたり、関連本などを読んでみてはいかがでしょうか？ 新しい発見があるかもしれません。

このコーナーでは、図書館や本、文学などに関わる記念日をご紹介します。



## 休館日のお知らせ 7月～9月

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30
31						

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5	6
7	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23	24	25	26	27
28	29	30	31			

### 9月

日	月	火	水	木	金	土
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10
11	12	13	14	15	16	17
18	19	20	21	22	23	24
25	26	27	28	29	30	

□ 休館日

>>>> 特別整理期間による臨時休館のお知らせ

※安佐北区図書館 9月29日(木)～10月5日(水)

※中区図書館 9月29日(木)～10月5日(水)

編集・発行

Hiroshima City Central Library  
広島市立中央図書館  
(公益財団法人 広島市文化財団)  
〒730-0011 広島市中区基町3-1  
<http://www.library.city.hiroshima.jp/>

代 表 082(222)5542  
本の照会・相談専用 082(222)6440  
F A X 082(222)5545  
(携帯電話 <http://www.library.city.hiroshima.jp/m/>)  
(スマートフォン <http://www.library.city.hiroshima.jp/sp/>)